

ホームページもご覧ください

<http://www.komei.or.jp/km/kofu-hyodo-kenji/>

皆様方には日頃から温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。
先の甲府市議会議員選挙におきまして皆様方から真心からのご支援を賜り、4たび市議会に送っていただきました。

改めまして皆様にご感謝申し上げますとともに、引き続き皆様のどんな小さな声もしっかりと受け止め、政策として市政に提言を行ってまいります。

議員の役割は何と言っても市民生活の向上、福祉の増進を実現するために、議会活動を通じて、様々な提言を行っていくことにあります。

開府500年、中核市移行という節目にあたり、また新しい天皇陛下が御即位され令和という新時代を迎え、我々の新たな任期もスタートしました。

先の3月定例会で、平成最後、そして3期目任期の最後となる代表質問を行いました。執行機関との真摯な政策競争を目指し、今後も市議会が皆様から一層の信頼をお寄せいただけるよう、全力で働いて参ります。よろしくお願いいたします。



1 2期目の市政運営の方針について

<質問内容と答弁要旨>

○1月の市長選で再選を果たした市長の2期目の市政運営の目指すところについて、特に人口減少と少子高齢化という大きな課題にどう立ち向かっていくのか質しました。

←選挙公約で掲げた「笑顔あふれるまちに元気をプラス」という政策提言を基本に人とくらしの元気づくりを進めていく。

※7つの元気スタイル

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①「こども輝くまち」を創る | ②「健康といきがいのまち」を創る |
| ③「女性生きいきのまち」を創る | ④「潤いと活力あるまち」を創る |
| ⑤「故郷が好きなまち」を創る | ⑥「世界がつながるまち」を創る |
| ⑦「タフで優しい市役所」を創る | |

<質問の視点>

○開府500年と中核市移行という歴史的な節目にあたり、今後4年間は持続可能な甲府市を実現するうえで極めて重要との認識を共有しました。

2 すこやか子育て医療費の助成対象年齢の拡大について

<質問内容と答弁要旨>

- こどもの医療費の窓口無料化に対する国庫補助減額措置が公明党山口代表の国会質問をきっかけに一部解除されたことが全国の自治体の取り組みに大きな弾みとなったことを指摘しました。
- そのうえで今後の対象年齢の拡大の考え方を質しました。
←対象年齢の拡大については今後検討することとなりました。

<質問のねらい>

- 公明党は窓口無料拡大のボトルネックとなっていた国庫補助減額措置の解除に真摯に取り組んできましたが、こうした努力をせずにはいたずらに拡大の要求を繰り返すだけでは市政は前進しません。
- 重要なことは、課題解決のためにどういう取り組みをしたかです。単に本会議で発言しただけでは政策は実現しません。
- 政策の実行は当局と議会、議員との「合意形成」があって初めて可能となります。合意なきところに政策の実現はありません。
- 実績の「ただ乗り」を厳に戒める上からも重要な質問ととらえています。

3 子どもをめぐる悲惨な事件への対応について

<質問内容と答弁要旨>

- 昨年、今年と、家庭内での虐待により幼い命が奪われるという悲惨な事件が相次ぎました。国では2019年度予算に対策費を計上するなど体制強化に乗り出します。学校現場でも現状子どもの状況を通じて家庭内の課題をキャッチすることが期待されますが、福祉施策に精通した専門職の現場への配置には至っていません。
- そこでスクールソーシャルワーカーやスクールサポーターなどの「多職種連携」により問題の解決にあたることで先生方の負担を軽減する意味からも必要ですが、その考え方を質しました。
←市教委にそれぞれ配置して、ケースごとに現場へ派遣して対応している。今後国の動向も見ながら充実を図っていく。
- こうした事件の背景に、かつて地球よりも重いとされた「生命」があまりに軽んじられている風潮がある。
そこで子ども自身へ、また取り巻く大人たちへの強いメッセージとなるべく、子どもを権利の主体として規定し、守っていく「子どもの権利条例」の制定を強く市長に求めました。
←子ども最優先を掲げる市長も悲惨な事件に胸を痛めていたところであり、権利条例の制定を明言しました。

4 関係人口による地域活性化について

＜質問内容と答弁要旨＞

○最近第3の人口概念として「関係人口」が注目されています。

これは、長期的な移住・定住人口でもなく、また一時的な観光・交流人口でもない、「まちづくりに関わる人口」を指します。

最近の大きな課題として地域づくりの担い手の減少が挙げられますが、持続可能な甲府市を実現するためにも、「関係人口」による地域づくりの担い手を育てることは大いに意義のある取り組みだと考えます。

そこで、関係人口を増やすことについて質しました。

←意義について認識を共有し、今後検討していくこととなりました。

4 期目に取り組む重点政策

- 1 人を育てる
- 2 若者が戻りたくなるようなまちをつくる
- 3 生涯にわたって幸せに暮らせるまちをつくる
- 4 将来にわたって持続可能なまちをつくる
- 5 中核市の誇り高いまちをつくる
- 6 中核市にふさわしい成熟した議会づくり

詳細はHPをご参照ください→

<http://www.komei.or.jp/km/kofu-hyodo-kenji/4期目に向けて/>